【機密性２情報】

（様式1）

日本医療研究開発機構　難治性疾患実用化研究事業
がん・難病ゲノム医療推進研究プログラム　研究開発提案書
※記載要領※

研究開発課題名	日本語表記	○○○○
	英語表記	○○○○
公募名		ゲノム医療の実現に資する難病ゲノムデータ基盤の発展研究
本提案における全研究期間		契約締結日～　令和　12 年　3 月　31 日(最大３年間)
ヒト全ゲノムシークエンス解析実施の有無		■実施する　□ 実施しない
研究開発代表者	氏　名	(フリガナ)エイメド　タロウ
		(漢字表記)　栄目戸　太郎
		(ローマ字表記)　Taro Eimedo
	性別	□男　□女　□その他　□回答しない
	生年月(年齢)	19XX 年 X 月(XX 歳:令和9年 4 月 1 日時点)
	所属機関(正式名称)	学校法人大手町大学
	所属部署(部局・役職)	大学院医学研究科・教授
	研究代表者の情報	https://www.○○○○(researchmap などを記載してください)
研究開発代表者の研究歴(主な職歴と研究内容)		

1. 研究要約（和文）

【研究の背景】

【目的】

【方法の概略】

1 ページ以内かつ 1,000 字以内で記載してください。

本欄の記載内容は e-Rad の「公募の概要」欄に転記してください。

青文字の補足説明は、提出時には削除をお願いします。

2. 研究開発項目別　研究開発概要

研究開発代表機関はこのフォーマットで記載してください。青文字は削除して提出してください。

研究開発項目(1)	○○○○○○○
研究開発担当者および研究開発分担者の氏名・フリガナ	栄目戸　太郎(エイメド　タロウ)
所属機関・部署・役職	大手町大学 ・大学院医学研究科・教授

1. 研究基盤について
以下内容についての説明を含めるようにしてください。現時点の体制を記載していただきますが、GeMJ との今後の連携について応募時点で想定している内容も記載してください。 ・GeMJ が提供する研究参加同意 ・GeMJ が提供する検体管理システム ・ゲノム解析領域(データストレージや計算環境を含む) ・GeMJ が提供する臨床情報登録システム 研究開発期間内に新たに開発する予定のシステム等がありましたら、この欄で説明してください。 必要に応じ図表を交えて構いません。

2. 研究の背景・目的

3. GeMJ 以外の外部組織・研究班等との連携について

4. 研究班の取り組みが、どのようにゲノム医療や GeMJ の発展に寄与しうるか記載してください。(研究開発分機関の取り組みも含めて記載してください)。

5. 遵守すべき研究に関係する指針等(複数選択可能)
□　再生医療等の安全性の確保等に関する法律
□　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
□　遺伝子治療臨床研究に関する指針
□　動物実験等の実施に関する基本指針
□　臨床研究法
□　省令 GCP
□　その他の指針等(指針等の名称:　　)
□　いずれにも該当しない

6. 研究開発代表機関として、本研究開発期間中に予定している臨床研究(医薬品等を人に対して用いることにより、当該医薬品等の有効性又は安全性を明らかにする研究)の有無 ※「有」の場合は、欄内に詳細(対象疾患、予定される内容、実施時期、登録番号)を記入してください。 ※「有」の場合は、jRCT: Japan Registry of Clinical Trials の登録番号などを記入してください。
□　有(臨床研究の登録番号:　　)

□ 無

7. 研究班全体における人権の保護及び法令等の遵守への対応

・相手方の同意・協力を必要とする研究開発、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究開発、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究開発など法令等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。
・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換え DNA 実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究開発・実験などが対象となります。
・該当しない場合には、その旨を記載してください。

横断的な研究テーマはこのフォーマットで記載してください。
横断的な研究テーマと症例登録の複数の研究開発項目において研究開発分担者が重複して構いません。

研究開発項目()	○○○○○○○
研究開発分担者の 氏名・フリガナ	1) 栄目戸　太郎(エイメド　タロウ) 2) ○○　○○ 3) △△　△△ ※検体を提出する研究者は記載不要です。
所属機関・部署・役職	1) 大手町大学 ・大学院医学研究科・教授 2) 大手町大学 ・大学院医学研究科・助教 3) 大手町大学 ・大学院医学研究科・講師

1. この研究開発項目を実施することで、難病領域として達成されること
難病領域において…が可能となる。

2. この研究開発項目を設定した背景(重要性・技術的な課題など)
…についての…が十分に整備されていない。

3. 研究実施内容
・研究実施項目を設定してください。複数ある場合は 1), 2)…と記載してください)。 ・各項目に続いて、研究実施内容を説明してください。 ・研究実施内容に応じた線表を 3. 研究開発の主なスケジュールに記載してください。 ・最終年度末までに成果物を GeMJ に提供できるようにスケジュールを設定してください。 1)○○○ ○○○ 2)○○○ ○○○

4. 研究業績(最大5報)
■研究開発分担者が執筆に関与した、2024～2026 年の成果論文のうち、当該研究開発提案の実現可能性を説明し得るものを最大**5報**記載してください。国際共同研究を含めて構いません。 ■研究基盤構築・拡充を主に担当する、研究開発代表者や研究開発分担者は、記載不要です。 ■共著者が多い場合は、筆頭著者、責任著者、研究開発分担者だけの記載としてください。研究開発分担者の氏名には下線を引いてください。 ■それぞれの論文の要約およびその研究に対する関与を簡潔に記載してください(様式自由)。 ■複数の研究開発項目を記載する場合は、研究業績は任意の箇所一つにまとめて構いません。まとめた際は、「研究開発項目(X)に記載」等記載箇所がわかるようにしてください。 1) XXX, Taro Eimedo. XXXXXXXXXX. Journal of XXX. 2025, vol. 100, p.200-208. doi: XXX. 論文要約:○○の病態を生じる疾患に対し、××遺伝子が原因となることを見出し、△△病としての新規疾患概念を確立した。 関与:筆頭著者/責任著者/共著者

各研究開発分担機関はこのフォーマットで記載してください。

研究開発項目()	○○○病の全ゲノム解析 （研究開発代表機関で記載を統一してください）
研究開発分担者の 氏名･フリガナ	1)栄目戸　太郎(エイメド　タロウ) 2)○○　△△
所属機関･部署･役職	1)大手町大学 ･大学院医学研究科･教授 2)
主たる研究対象疾患 （複数選択可、複数記載可）	□単一遺伝子性疾患 □多因子性疾患 □現時点で疾患概念が十分に確立しておらず診断が困難な疾患(未診断疾患) 【具体的な対象疾患を記載してください。臨床現場で用いる分類で構いません】 ※詳細な疾患分類は必要に応じ 8 で説明して下さい。

1. 研究班の取りまとめ方とその体制について
□疾患取りまとめ型 □機関取りまとめ型 □疾患取りまとめ型および機関取りまとめ型
○○○ ･疾患取りまとめ型を選択した場合は、疾患レジストリ等既存の患者リクルートネットワークを通して、全国から対象疾患患者の臨床情報および検体を収集する体制をこの欄で説明してください。 ･機関取りまとめ型を選択した場合は、所属する病院のいわゆる遺伝子医療部門が、主たる対象疾患に限定せず診療科横断的な症例取りまとめを行う体制をこの欄で説明してください。 ･両方を選択した場合は、両方について体制を説明してください。

2. 研究開発分担者は、以下①+②もしくは②+③を満たす必要があります。括弧内に現在の実務内容を記載して下さい。該当しない文章は削除してください(例えば②+③の場合は①は削除可能です)。
①日常的な難病診療実務経験がある ○○○ ②日常的な難病ゲノム研究実務経験がある ○○○ ③日常的な難病診療実務経験はないが、ゲノム解析結果をレポートの形で日常的に医療現場に還元している ○○○。詳細は「6. ゲノム解析結果レポート等の患者還元体制」に記載して構いません。

3. 研究開発分担班における同意取得体制について(協力医療機関を含めて記載してください)

4. 研究開発分担班の臨床情報入力体制について(協力医療機関を含めて記載してください)

5. 研究開発分担者が参画するバリアント検討会の体制について

6. ゲノム解析結果レポート等の患者還元体制について

7. 対象疾患における、ゲノム医療への実装を目指した、研究の背景・目的について

8. 研究実施内容
・研究実施項目を設定してください。複数ある場合は 1), 2)…と記載してください)。 ・各項目に続いて、研究実施内容を説明してください。 ・研究実施内容に応じた線表を 3. 研究開発の主なスケジュールに記載してください。 ・最終年度末までに成果物を GeMJ に提供できるようにスケジュールを設定してください。 ・「○○病の全ゲノム解析」といった、研究班全体で実施を前提とする研究実施項目は記載不要です。 1)○○○ ○○○ 2)○○○ ○○○

9. 研究業績(最大5報)
■研究開発分担者が執筆に関与した、2024～2026 年の成果論文のうち、当該研究開発提案の実現可能性を説明し得るものを最大**5報**記載してください。国際共同研究を含めて構いません。 ■研究開発代表者や研究開発分担者のうち、研究基盤構築・拡充を主に担当する場合は記載不要です。 ■共著者が多い場合は、筆頭著者、責任著者、研究開発分担者だけの記載としてください。研究開発分担者の氏名には下線を引いてください。 ■それぞれの論文の要約およびその研究に対する関与を簡潔に記載してください(様式自由)。 1) XXX, Taro Eimedo. XXXX. Journal of XXX. 2025, vol. 100, p.200-208. doi: XXX. 論文要約:○○の病態を生じる疾患に対し、××遺伝子が原因となることを見出し、△△病としての新規疾患概念を確立した。 関与:筆頭著者/責任著者/共著者

10. 生物統計家の関与 (無／検討中を選択した場合は、①～⑤の記載は削除してください)
□有 (詳細:) (主な関与:□研究企画立案(データ取得前)から □統計処理(データ取得後)のみ □その他) (主な関与でその他を選択した場合、詳細:) □無／検討中 (理由:) ①関与する生物統計家の学歴 ②関与する生物統計家の職歴(研究歴) ③臨床試験への関与の経験の有無 □有 □無 ④関与した試験の内容(具体的に) ⑤専門資格の有無 □有(以下より選択ください。)□無

□日本計量生物学会 試験統計家認定制度
（□責任試験統計家□実務試験統計家）
□その他（上記以外の資格等:　　）

11. 疫学専門家の関与（無／検討中を選択した場合は、①～④の記載は削除してください）

□有（詳細:　　）
（主な関与:□研究企画立案（データ取得前）から　□統計処理（データ取得後）のみ　□その他）

□無／検討中
（理由:　　）

① 関与する疫学専門家の学歴

②関与する疫学専門家の職歴（研究歴）

③これまでに関与した研究の内容（具体的に）

④専門資格の有無　　□有（以下より選択ください。）□無
□日本疫学会 疫学専門家認定制度
（□上級疫学専門家□疫学専門家）
□日本臨床疫学会 疫学専門家認定制度
（□臨床疫学卓越専門家□臨床疫学上席専門家
□臨床疫学認定専門家）
□日本薬剤疫学会 認定薬剤疫学家制度（認定薬剤疫学家）
□その他（上記以外の資格等:　　）

12. 知財担当者の関与

□無 □検討中 □有　（詳細:　　）

3. 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

	氏名	所属機関※1	現在の専門（書式自由）	本提案の令和9年度研究経費 ※直接経費 （千円）	エフォート（%）※2
	生年月（年齢:令和9年４月１日時点）	所属部署（部局）※1	学位（最終学歴） 学位取得年		
		役職※1	役割分担		
研究開発代表者	栄目戸　太郎	大手町大学	△△△	X,XXX	XX
	S49/11（XX）	△△△学部△△△学科	△△博士（大手町大学） H17 年		
		教授	研究の統括		
研究開発分担者	南尾　花子	大手町大学	○○学	大手町大学で合算	XX
	S55/11（XX）	△△△学部△△△学科	○○博士（日比谷大学） H23 年		
		講師	事務局取りまとめ		
研究開発分担者	南尾　花子	大手町大学	□○□	大手町大学で合算	XX
	S55/11（XX）	△△△学部△△△学科	○○博士（日比谷大学） H23 年		
		講師	プロジェクトマネジメント		
研究開発分担者	南尾　花子	日比谷大学	□○□	X,XXX	XX
	S55/11（XX）	△△△学部△△△学科	○○博士（日比谷大学） H23 年		
		講師	○○病の全国取りまとめ		
研究開発分担者	南尾　花子	日比谷大学	□○□	X,XXX	XX
	S55/11（XX）	△△△学部△△△学科	○○博士（日比谷大学） H23 年		
		講師	日比谷大学内の症例取りまとめ		

研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ △△解析の標準化	X,XXX X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX

研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
研究開発分担者	南尾　花子 S55/11(XX)	日比谷大学 △△△学部△△△学科 講師	□○□ ○○博士(日比谷大学) H23 年 ○○病の全国取りまとめ	X,XXX	XX
計　2 名			研究開発経費合計(千円)	X,XXX	

※1　人数に応じて適宜記入欄を追加してください。

※2　エフォート(%)の記載内容は e-rad 登録内容と同一としてください。

【研究開発代表者】上記の所属機関以外に勤務先がある場合は、記載してください。

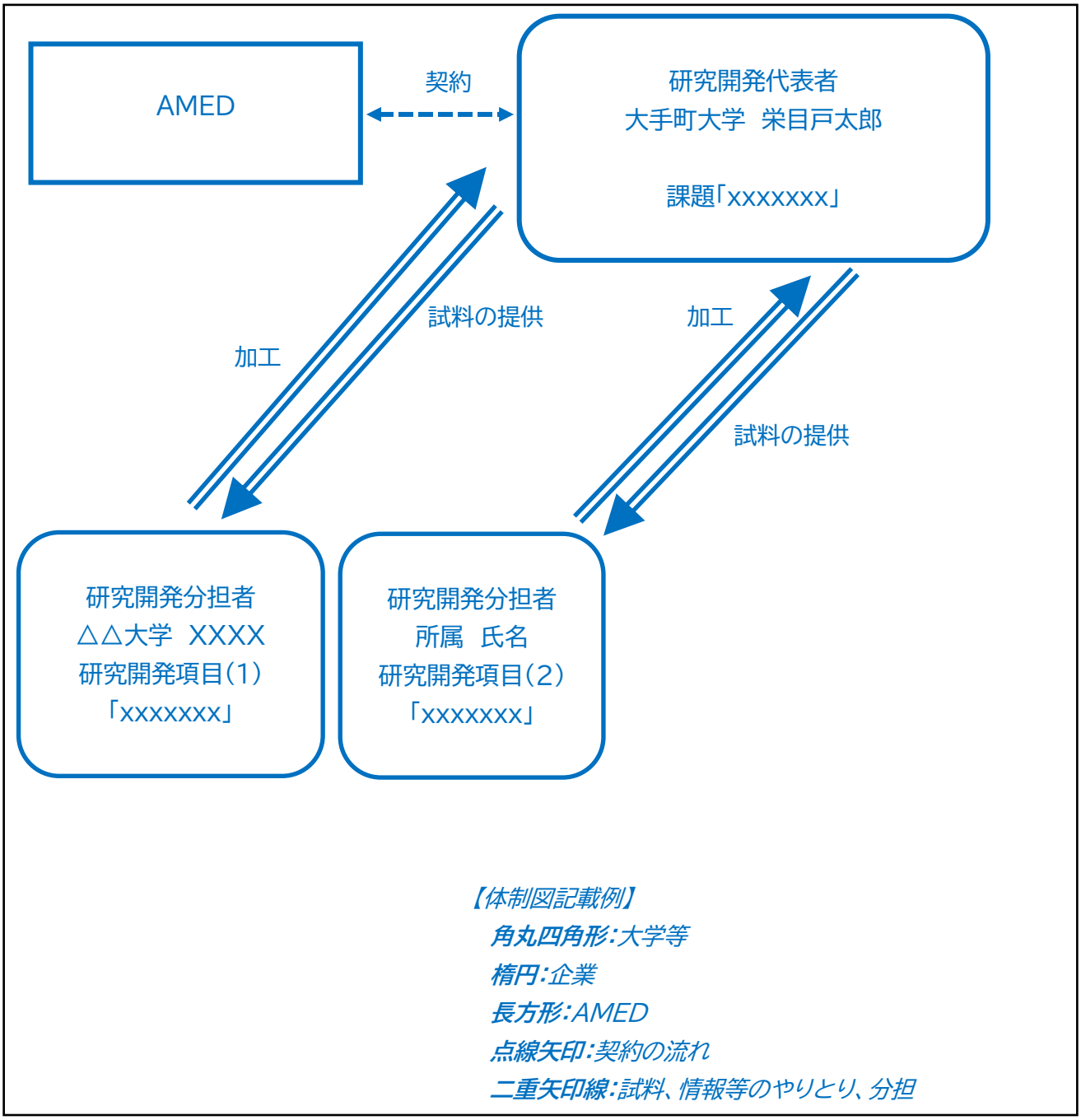
※研究開発代表者のみが対象です。該当しない場合は、この表には「該当なし」と記載してください。

※主たる勤務場所が、本研究開発課題の主たる研究場所及び上記の所属機関と異なる場合は、その旨を記載してください。

機関名	所属部署（部局）	役職
×□大学	○○学部	×××
株式会社○△	-	××

4. 実施体制図と連携先に関する情報

※体制図の書式は自由です。研究班で作成なさった図があれば、差し替えが可能です。
※体制図には GeMJ を含め、研究開発代表者と二重矢印線で結び、具体的な内容を記載してください。



5. 研究開発の主なスケジュール

※研究開発代表機関や横断的な研究開発を行う機関など、プロジェクトを担当する場合に記載してください。
症例登録を担う等、年度ごとの内容が変化しない研究開発項目については記載不要です。

＜担当者＞

①研究開発代表者：氏　名（○○大学）

②研究開発分担者：氏　名（○○機構）

・・・・

研究開発項目 ＜担当者＞	第１年度（R9年度）				第２年度（R10 年度）				第３年度（R11 年度）			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) ○○ ・○○ ・○○ ＜①②＞	←							→				
			→						←			→
(2)												
(3)												
(4)												
(5)												
(6)												
(7)												

6. 各年度別経費内訳

（1）全体経費

大項目		中項目	R9年度	R10 年度	R11 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費	30,000			
		消耗品費	500,000			
	2.旅　費	旅費				
	3.人件費・謝金	人件費				
		謝金				
	4.その他	外注費	1,000,000			
		その他				
	研究開発費　合計					
以下の欄は審査には用いませんが、AMED 事業予算管理のためにご記載をお願いいたします。						
間接経費※						
計上額　総計						

単位：千円

※R10 年度と R11 年度については、提案時点の予測で構いません。

※間接経費は直接経費の 30%以内とします。

※必ずしも提案上限額を記載する必要はありません。研究規模に応じて上限額以内で予算を設定してください。また計上予算内訳も審査の対象となります。

※予算計上は、当該研究開発提案の達成に必要不可欠であるものに限ってください。

（2）令和9年度における直接経費の具体的な内訳や使用目的

1. 設備備品費
・●●研究における●●に用いる●●の購入：●●千円
2.消耗品費
3. 旅費
4. 人件費
5. 謝金
6. 外注費
7. その他

※主な支出につき、支出計画を具体的に示して下さい。この妥当性も審査項目に含まれます。

※令和9年度の記載だけで構いません。

※GeMJ 等の外的要因で想定経費が変わり得る項目については、現時点では見込みの額で構いませんが、委託契約に向けてその可能性を研究開発提案書で説明してください。

7. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者及び研究開発分担者の応募時点における、(1)応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)、(3)その他の活動について、次の点に留意し記載してください。

■なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。記入内容が事実と異なる場合もしくは申請の事実を意図的に隠ぺいした場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間(教育・医療活動等を含む)を 100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

■必要に応じて行を挿入して構いません。また表の幅を適宜変更して構いません。

【研究開発代表者】

(1)応募中の研究費(令和8年 11 月時点)応募時点の情報を記載してください

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和 9 年度の研究経費 (直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 ※本事業への応募段階において他の競争的資金制度等への応募を制限するものではありません。
【本研究開発課題】 (R9年度～R11年度)	○○と△△に関する研究 (栄目戸　太郎)	代表	8,000 [24,000] ※[　]には申請者本人が使用する直接経費を記載してください	20	(総額　30,000 千円)* ※研究開発課題全体(直接経費)総額を記載してください
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R9～R10・日本学術振興会)	○○と△△の□□への影響に関する調査研究 (○○○○)	代表	3,000 [6,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額　7,500 千円)* ※研究代表者の場合、研究開発課題全体(直接経費)の総額を記載してください。
令和9年度○○財団研究助成金(R9・○○財団	××と□□の研究 (○○○○)	分担	1,000 [1,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和8年11月時点)

(注:R8年度末までに終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和９年度の研究経費 (**直接経費**) [期間全体の額]	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和8年度〇〇財団研究助成金(R8・〇〇財団	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	代表	1,000 [3,000] *(千円)*	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額　5,000 千円) 研究代表者の場合、研究開発課題全体(直接経費)の総額を記載してください。
〇〇事業(R7～R9・AMED)	●●と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000] *(千円)*	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

＊ 研究代表者のみ:(　)内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3)その他の活動(教育・医療活動等を含む)　　エフォート:　20　%

【研究開発分担者】 栄目戸　太郎(大手町大学)

(1)応募中の研究費(令和8年 11 月時点)応募時点の情報を記載してください

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和９年度の研究経費(直接経費)[期間全体の額]	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 ※本事業への応募段階において他の競争的資金制度等への応募を制限するものではありません。
【本研究開発課題】 (R9年度～R11年度)	○○と△△に関する研究 (栄目戸　太郎)	代表	8,000 [24,000] *(千円)* ※[　]には申請者本人が使用する直接経費を記載してください	20	(総額　30,000 千円)* ※研究開発課題全体(直接経費)総額を記載してください
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(R9～R10・日本学術振興会)	○○と△△の□□への影響に関する調査研究 (○○○○)	代表	2,000 [6,000] *(千円)*	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額　9,000 千円)*
令和9年度○○財団研究助成金(R9・○○財団	××と□□の研究 (○○○○)	分担	1,000 [1,000] *(千円)*	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和8年 11 月時点)

(注:R8年度末までに終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和９年度の研究経費(**直接経費**)[期間全体の額]	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和8年度○○財団研究助成金(R8・○○財団	●●と□□の研究 (○○○○)	代表	1,000 [3,000] *(千円)*	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額　5,000 千円)
○○事業(R7～R9・AMED)	●●と□□の研究 (○○○○)	分担	1,000 [5,000] *(千円)*	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

＊ 研究代表者のみ:(　)内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3)その他の活動(教育・医療活動等を含む)　　エフォート:　20　%

8. これまでに受けた研究費とその成果等

■この項目は、**本研究の立案に活用されている研究費だけを選定して記載してください**。

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に活用されているものを選定し、（1）【AMED 事業】と（2）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED 事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の代表者のみ。）結果も簡潔に記載してください。

研究開発代表者：栄目戸　太郎（大手町大学）

（1）【AMED 事業】

・AMED　○○事業（A）、R1～R3 年度、「○○に関する研究」、代表者、30,000 千円

・AMED　○○事業（B）、R3～R5 年度、「○○に関する研究」、分担者、10,000 千円

（2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、R2～R4 年度、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円

研究開発分担者：○○　○○

（1）【AMED 事業】

・AMED　○○事業（A）、R1～R3 年度、「○○に関する研究」、代表者、30,000 千円

・AMED　○○事業（B）、R3～R5 年度、「○○に関する研究」、分担者、10,000 千円

（2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、R2～R4 年度、「○○に関する研究」、代表者、40,000 千円

9. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。**評価に影響はありません**が、記載内容は今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。なお、**代表機関のみ記載してください**。

(1)倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal and Social Issues, ELSI)について研究班としての取組を記載してください。

(2)患者・市民参画(Patient and Public Involvement: PPI)について、本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。

(3)キーワード(疾患名以外、10 単語以内)
提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例:研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位(臓器、組織、細胞等)、対象集団(妊産婦、AYA 世代など)、実験動物等、の具体名) 1.△△計測　2.〇〇合成阻害剤　3. . . . .

(4)対象疾患(10 個以内)　※特定の疾患に限定しない場合は、「難病全般」等と記載して構いません。

(5)性差を考慮した研究開発の推進について
性差の視点を研究計画に適切に組み込むことで、これまで見過ごされてきた科学的知見の発見や新たな社会的価値の創出が期待されます。このように性差を適切に考慮することは、研究の質向上に資する可能性があり、研究成果を患者さんへ届けるうえで重要です。AMED が支援する研究開発においては、性差が研究対象や成果に影響を与える可能性がある場合、これを適切に考慮することが望まれます。なお、性差としては、「生物学的性(SEX)」と「社会的・文化的性(GENDER)」の両視点を持つことが重要であり、AMED では研究開発提案書における記載において、本取組における現状を把握し、分析結果等を踏まえた段階的な取組を検討しています。令和 8 年度以降は、「生物学的性(SEX)」に着目しますので、本項目では、「生物学的性(SEX)」に基づき記載をお願いします。 (https://www.amed.go.jp/content/000163016.pdf) (https://www.amed.go.jp/program/list/18/01/seisakenkyu.html) 提案者は本提案書作成にあたり、性差を考慮しましたでしょうか。またその理由はどのようなものでしょうか。下記の理由コードの「A-1～A-5」または「B-1～B-7」から選択し、回答欄に記載ください。その他(A-5 または B-7)を選択した場合は、理由も記載ください。

回答欄：該当する理由コードを記入（複数可）

理由コード

性差を考慮した	
A-1	既存研究や文献で性差の影響が報告されているため （例. 疾患の発症、病態、生理学的特性、治療反応等に性差が報告されている）
A-2	既存研究や文献で性差に関する知見が不足しているため（例. 新たな知見創出や研究領域の発展につながる可能性があるため）
A-3	研究の質を向上させるため
A-4	社会実装時の有効性・安全性・公平性を確保するため
A-5	その他（簡潔に記載してください）
性差を考慮しなかった	
B-1	既存研究や文献で性差の影響が認められないことを確認したため（自身の研究結果も含む）
B-2	現段階の研究開発フェーズでは性差を検討する必要性/優先順位が低いと考えたため （研究費/人的リソース/研究期間の制約も含む）
B-3	性差を考慮した研究デザインや解析方法に関する知識・経験が不足しているため
B-4	研究試料上の制約があるため（例. 性別情報の取得が困難、希少疾患等）
B-5	研究目的上、性差を考慮する必要がないため （例. 知財戦略支援、研究基盤整備、人材育成等）
B-6	性特異的疾患を対象としているため （例. 卵巣癌、前立腺癌等）
B-7	その他 （簡潔に記載してください）